

24
25

 U-NEXT

 Premier
League



REPORT

サッカー試合解説レポート

MATCH

U-NEXT プレミアリーグ 【38】 0526_マンチェスター・U VS アストン・ヴィラ

DATE

2025/05/26

NAME

田中裕介



3-4-2-1



4-2-3-1

プレミアリーグ・今日

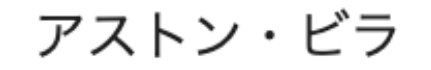
試合終了



2

—

0

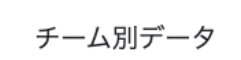
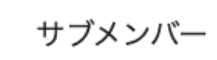


アマド・トラオレ 76'

クリスティアン・エリクセン 87' (P)



エミリアーノ・マルティネス 45+1'



14 クリスティアン・エリクセン ↑

20 ディオゴ・ダロト ↓

35 ジョニー・エヴァンズ ↑

37 コピー・メイヌー ↑

56 チド・オビ ↑

22 トム・ヒートン

25 マヌエル・ウガルテ

43 トビー・コリアー

55 タイラー・フレデリクソン

↑ ロス・バークリー 6

↑ ユーリ・ティーレマンス 8

↑ ドニエル・マレン 17

↑ ロビン・オルセン 25

↑ ジェイコブ・ラムジー 41

タイロン・ミングス 5

リュカ・ディニュー 12

アンドレス・ガルシア 16

レオン・ベイリー 31

チーム別データ

シュート

桙内シュート

ボール支配率

パス

パス成功率

ファウル

イエローカード

レッドカード

オフサイド

コーナーキック

MATCH REPORT

SCORE 2-0 (1st 0-0 2nd 2-0)

TOP3 point

- ・失うものがない中で見せるべき姿を見せた赤い悪魔
- ・守備がハマらず本来の姿を見せられなかったヴィラ
- ・試合を大きく左右した両GKのプレー

Trivia of this match

- ・ユナイテッドはEL決勝敗退の損失は192億円と言われている
- ・アモリム監督はEL決勝のコーチングスタッフとサポートチーム計30名の渡航費を私費負担した
- ・ヴィラの25-26シーズン2ndユニはバーミンガムの商業区域ブルリングの街の景色から得たデザインを採用

(ユナイテッドの戦い方と試合展開)

- 前半：・基本システムはお馴染みの3-4-2-1。前線3枚はホイルンド、ディアロ、マウント。
- ・立ち上がりから圧力をかけて試合を支配していく。DFライン背後を狙いに行く大胆なランニング、深い位置をとる意識でチャンスをクリエイトしていく。
 - ・守備ではハイプレスとカウンタープレスをハイインテンシティで遂行。ヴィラのビルドアップを封殺する。
 - ・特に右サイドは相手守備陣の乱れを突いて何度も崩しにかかる。シャドーのディアロの立ち位置が良く相手が前に出て来れず右CBリンデロフにプレッシャーがない状況を作り出せていた。
 - ・試合が動いたのは前半残り時間わずか。バックパスを奪ったホイルンドがGKと交錯。退場に追い込む。試合を動かす大きな分岐点となった。
- 後半：・10人の相手に攻勢を強める。クロスに加えてミドルシュートを多発。危険な攻撃を続けるが最後のところは相手守備陣の集中に手を焼く。
- ・ルーズボールの処理にいったGKバユンドゥルがボールを奪われてあわや失点かという場面。ここはファウルの判定で難を逃れる。
 - ・試合を動かしたのは今シーズンチームを牽引してきたB・フェルナンデス。完璧なクロスからディアロが合わせて待望の先制点を奪う。
 - ・その後はピンチはあったものの集中して対応。ディアロがファウルで得たPKを今季で退団するエリクセンが冷静に沈めて試合を決定づけた。

(ヴィラの戦い方と試合展開)

- 前半：・システムは4-2-3-1。左MFにマッギンを起用。開始からユナイテッドに押し込まれる。守備がハマらず相手のボールの出所にプレスがかからず自由に侵入されてしまう。
- ・相手のローテーションの巧さとトランジションの速さに手を焼きなかなか前進できない。特に左サイドのマートセン、マッギン、オナナの所はなかなかマークが捕まえられなかった。
 - ・GKマルティネスを中心になんとか耐える時間帯が続く。ピンチはあるものの最後のところは身体を張りゴールを割らせない。
 - ・前半ラストに痛恨のミスが出てしまう。右SBキャッシュのバックパスがゆるくなってしまう奪われる。入れ替わられそうになったGKマルティネスが決定機阻止で退場してしまう。
- 後半：・10人での戦いを強いられる。ゴール前にブロックを敷いて耐える時間帯が続く。クロス守備の対応ではDFラインが集中した対応を見せる。カウンターに勝機を見出す。
- ・相手の中途半端なクリアミスを追ったロジャーズがボールを奪取してゴールに流し込む。しかしこのプレーがGKチャージの判定。エメリ監督も激怒する判定だった。
 - ・直後に失点。ここまで度々耐えていたDFラインだったが完璧なクロスを合わされてしまう。
 - ・エリア内でディアロに対応したマートセンがファウルでPKを与えてしまう。これを沈められて万事休す。

- (総評) 前半からユナイテッドが試合を支配。ローテーションと小気味のいいパスワーク、奪われた後の速いトランジションでヴィラに時間を与えない。CL出場権のかかるヴィラに対してシーズンを通してうまくいかなかったユナイテッドが完璧な試合を披露した。(シュートは25本対6本)
- 試合を分けたのは両GKのプレー。マルティネスは退場、バユンドゥルは難を逃れた。両チームこのプレーが試合を分けたのは間違いない。